学校番号	3027

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「生物」　（数研出版）						
副教材等	リードα生物　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

・問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
観察、実験などを行い、そのデータを用いて科学的に考察し、その一連の過程を研究発表として表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、そのデータを用いて科学的に考察し、その一連の過程を研究発表として表現する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物の進化	生物の進化	a:生物が「細胞からできている」、「生命活動にはエネルギーが必要」、「遺伝情報としてDNAをもっている」などの共通性をもつことが理解できる。細胞の観察を行い、さまざまな生物に、細胞からできているという共通性が見られることを確かめている。 b:さまざまな生物の比較に基づいて、すべての生物に見られる特徴について考え、共通性を見いだすことができる。 c:生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート ノート 発表
	生命現象と物質	生命現象と物質	a:DNAの構造を理解するとともに、タンパク質合成を含めた遺伝情報の発現について理解する。DNAに関する実習を通して、DNAの構造や転写・翻訳といったタンパク質合成について理解できる。 b:DNAの模式図などを用いてDNAの構造や複製、発現についてその特徴を見出すことができる。 c:遺伝子とその働きに関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート ノート 発表

2	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報の発現と発生	a:体内での情報伝達が体の状態の調節に関係し、自律神経系と内分泌系の働きによって体内環境が調節されるしくみが理解できる。 b:運動の前後での心臓の拍動の変化において、交感神経や副交感神経がそれぞれどのようにはたらいていたかを考えている。食事の前後での血糖濃度とインスリン濃度の変化のグラフから、血糖濃度とインスリンの働きとの関係に気づき、説明することができる。 c:体内環境の維持のしくみに関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート ノート 発表
	生物の環境応答	生物の環境応答	a:自然免疫・適応免疫のしくみと、それにはたらく細胞の役割および免疫記憶のしくみが理解できる。 b:抗原が体内に侵入したときの、抗体の産生量の変化を示したグラフから、同じ感染症に再びかかりにくくなる理由を考えることができる。 c:免疫の働きに関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート ノート 発表
3	生態と環境	生態と環境	a:生態系がどのように構成されているのか、また生態系において種多様性が維持されるしくみが理解できる。生態系のバランスについて理解し、生態系の保全のために、どのような活動が行われているかが理解できる。 b:生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。外来生物の移入前後の在来魚の漁獲量の変化を示した資料をもとに、外来生物が在来魚に与えた影響を考察し、説明できる。 c:生態系と生物の多様性、生態系のバランスと保全に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート ノート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度